

## 3つのポリシーについて

### 1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本校では、空の仕事のスペシャリストとして、知識や技術を身につけることを目指す学生を募集します。本校の教育理念をよく理解し、航空業界の専門家になりたいという高い意欲を持つ者に対して、多様な選抜方法により、多面的・総合的な評価を行う。

#### 知識・技能

- 高等学校の教育課程において履修および学習した基本的な知識や技能を有している人
- 本校の希望する学科・専攻への入学の目的、意義を自覚した行動がとれる人
- 自分の考えを伝えることができる人
- 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人

#### 思考・判断・表現

- 本校の希望する学科・専攻の分野で社会に貢献しようとする人
- 新しいものに挑戦する意欲のある人
- 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲をもって、目的に向かって努力できる人

#### 関心・意欲・態度

- 本校の希望する学科・専攻の分野で技術を身につけ社会に貢献しようとする人
- コミュニケーションを図り、他者と協働して物事を進められる。
- 社会に貢献するために具体的な目標を立て行動できる人

### 2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本校は、ディプロマポリシー（卒業認定・称号付与の方針）に掲げた人材育成目標を達成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施する。

#### <<教育課程編成委員会の設置>>

「教育課程編成委員会」（各専門分野について知見のある企業、業界団体などが委員として参画）を設置し、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するための教育課程の編成について組織的に取り組み、実践的職業教育の質を確保する。委員会では、業界動向、今後必要となる知識や技術などを分析し、職業教育に必要な授業科目や授業方法の提案等を行う。

#### <<カリキュラムの編成について>>

1. 関連業界と連携し、求められる知識や技術を習得するための科目でカリキュラムを構成します。
2. シラバスを通じて、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価の方法などを周知します。
3. シラバス及び授業の点検評価を行い、教育内容・教育方法の充実に努め、授業科目毎に定められ

た成績評価基準に基づき、適正な成績評価を行います。

4. キャリア教育を通して、職業人としてのビジネスマナー、コミュニケーション能力を身に付けるためのプログラムを提供します。
5. 他学科との交流、校外研修、インターンシップなど、幅広い視野と豊かな人間性、幅広い視野を育む、多くの人々と協調・協働しながら解決方法を探究する学習能力を養うため、学生が主体となる実践的なプログラムを提供します。

### 3. ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本校の教育理念である「学生の自主性を尊重し発展させ、即戦力となる人材を育成することで社会に貢献する」を実現することを使命とし、設置学科に関連する業界で活躍できる専門知識や技術を習得し、良識ある社会人として必要な素養を身に付け、国や地域社会、国際社会の発展に貢献できる心豊かな職業人の養成を目標とします。本校所定の課程を終了し、各学科で定める所定の教育課程を修了した学生の卒業を認め、専門士の称号を付与する。なお、各学科における卒業認定の方針は別途定める。

1. 修業年限が2年以上
2. 各学科における「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている
3. 2年課程は1,700時間以上履修している

### 4. 各学科の教育目標と卒業認定について

#### 航空整備士学科（整備訓練コース）

##### 教育目標

##### 1年次

1. 航空機整備に必要な基本的な知識・技術について習得する。
2. 11月に行われる航空従事者学科試験（国家試験）の二等航空運航整備士試験全3科目合格をめざす。
3. 課外授業などを通じて広い視野や、コミュニケーション能力などを養う。

##### 2年次

1. それぞれの就職先の業種に応じ、必要な知識・技術を深める。
2. 整備訓練課程として求められる知識・技術の定着を目指す。

##### 卒業認定について

各年次の所定の科目に合格している者について卒業証書を授与する。

各科目の合格は、

- 定期試験（各年次、前期と後期）における評価が70点以上
- 出席時限数が所定の教育時限数の80%以上であり、欠席時限を全て補習で回復していること（専門科目のみ）

## 航空整備士学科（整備技術コース）

### 教育目標

#### 1年次

1. 航空機整備に必要な基本的な知識・技術について習得する。
2. 航空機製造等に必要な基本的な知識・技術について習得する。
3. 課外授業などを通じて広い視野や、コミュニケーション能力などを養う。

#### 2年次

1. それぞれの就職先の業種に応じ、必要な知識・技術を深める。
2. 社会人として必要な礼儀やマナー、コミュニケーション能力を身につける。

### 卒業認定について

各年次の所定の科目に合格している者について卒業を認定する。

また、次に掲げる目標を達成した学生に対し卒業を認定する。

- 本学科で履修した業種に関する知識、技術が身についている。
- 社会人として必要な礼儀やマナー、コミュニケーション能力を身につけている。

## エアポート学科（グランドハンドリングコース）

### 教育目標

#### 1年次

1. 航空業界の各種業務に対し視野を広げて理解させ、企業の力となり得る行動を習得する。
2. 航空機の運航に関する地上支援業務(グランドハンドリング)の基礎知識と技能を身につける。
3. 地上支援業務(グランドハンドリング)として求められるチームワークおよび目標に向けて協働出来るコミュニケーション能力を身につける。
4. 課外授業などを通じて広い視野を持たせ、社会人基礎能力を身につける。

#### 2年次

1. 飛行機の地上支援業務(グランドハンドリング)遂行における一層の知識、技能の向上を図る。
2. 地上支援業務(グランドハンドリング)上の安全、品質管理、また、問題意識を持った行動の必要性を身につける。
3. チームワークを重視した実習で地上支援業務(グランドハンドリング)の技能向上を目指す。
4. それぞれの就職先の業種に応じ、必要な知識・技能を深める。

### 卒業認定について

所定の課程を終了し、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得に

は「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

なお、エアポート学科（グランドハンドリングコース）においては、次に掲げる目標を達成した学生に卒業認定を行う。

- 本学科で履修した航空業界に関する知識、技能を有している。
- チームで働く力（規律性・責任性・協調性・積極性）を意識した行動ができる。
- 社会で活躍できる基礎能力を持ち、専門知識・技能を有し、責任ある行動ができる。

## エアライン学科（グランドスタッフコース）

### 教育目標

#### 1年次

1. 航空業界で求められる英語力を習得し、資格試験に合格（取得）するとともに、実務で活用できる英会話力を実践的に身につける。
2. 航空の基礎知識を理解し、実践的に活用できる技量を身につける。
3. 接遇者として求められるホスピタリティマインドや接客マナー、コミュニケーション力を身につける。
4. 目的意識を持ち、自ら進んで学ぶ習慣を身につけ、知識・技量を継続的に高めていく力を身につける。
5. 課外授業を通じて広い視野を持ち、社会的スキルの向上を行う。

#### 2年次

1. 航空業界・社会で求められる知識や技量の定着を図る。
2. 向上心・探求心・問題意識を持ち、自ら考え主体的に行動することができる。
3. 他者を受容し、多様な価値観を理解できる異文化コミュニケーションに基づく関係構築ができる。
4. 就職先で勤務に必要な社会的スキルを身につける。

### 卒業認定について

所定の課程を終了し、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得には「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

なお、エアライン学科（グランドスタッフコース）においては、次に掲げる目標を達成した学生に卒業認定を行う。

- 本学科で履修した航空業界に関する専門的な知識、技量を有している。
- 問題解決のための的確なコミュニケーション能力を身につけている
- 現代社会を支えていく者としての自覚を持ち、専門的知識を生かしながら、一社会人として責任ある行動をとることができる。

## エアライン学科（客室乗務員コース）

### 教育目標

#### 1年次

1. 航空業界で求められる英語力を習得し、資格試験に合格（取得）するとともに、実務で活用できる英会話力を実践的に身につける。
2. 航空の基礎知識を理解し、実践的に活用できる技量を身につける。
3. 接遇者として求められるホスピタリティマインドや接客マナー、コミュニケーション力を身につける。
4. 目的意識を持ち、自ら進んで学ぶ習慣を身につけ、知識・技量を継続的に高めていく力を身につける。
5. 課外授業を通じて広い視野を持ち、社会的スキルの向上を行う。

#### 2年次

1. 航空業界・社会で求められる知識や技量の定着を図る。
2. 向上心・探求心・問題意識を持ち、自ら考え主体的に行動することができる。
3. 他者を受容し、多様な価値観を理解できる異文化コミュニケーションに基づく関係構築ができる。
4. 就職先で勤務に必要な社会的スキルを身につける。

### 卒業認定について

所定の課程を終了し、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得には「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

なお、エアライン学科（客室乗務員コース）においては、次に掲げる目標を達成した学生に卒業認定を行う。

- 本学科で履修した航空業界に関する専門的な知識、技量を有している。
- 問題解決のための的確なコミュニケーション能力を身につけている
- 現代社会を支えていく者としての自覚を持ち、専門的知識を生かしながら、一社会人として責任ある行動をとることができる。

## エアライン学科（航空貨物取扱コース）

### 教育目標

#### 1年次

1. 航空業界・物流業界で求められる英語力を習得し、実務で活用できる英会話力を実践的に身につける。
2. 航空・貿易の基礎知識を理解し、実践的に活用できる技量を身につける。また、IATA ディプロマ

資格を取得する。

3. 多種多様な人と正確な意思疎通が図れるコミュニケーション能力を磨く。
4. 目的意識を持ち、自ら進んで学ぶ習慣を身につけ、知識・技量を継続的に高めていく力を身につける。
5. 課外授業を通じて広い視野を持ち、社会的スキルの向上を行う。

## 2年次

1. 航空、物流業界・社会で求められる知識や技量の定着を図る。
2. 向上心・探求心・問題意識を持ち、自ら考え主体的に行動することができる。
3. 他者を受容し、多様な価値観を理解できる異文化コミュニケーションに基づく関係構築ができる。
4. 就職先で勤務に必要な社会的スキルを身につける。

## 卒業認定について

所定の課程を終了し、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得には「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

なお、エアライン学科（航空貨物取扱コース）においては、次に掲げる目標を達成した学生に卒業認定を行う。

- 本学科で履修した航空・物流業界、貿易に関する専門的な知識、技量を有している。
- 問題解決のための的確なコミュニケーション能力を身につけている
- 現代社会を支えていく者としての自覚を持ち、専門的知識を生かしながら、一社会人として責任ある行動をとることができる。